【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公開番号】特開2008-119279(P2008-119279A)
【公開日】平成20年5月29日(2008.5.29)
【年通号数】公開・登録公報2008-021
【出願番号】特願2006-307302(P2006-307302)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月25日(2009.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技盤に取り付けられるセンター役物装置と、遊技の進行に応じて前記センター役物装置を制御する制御基板と、を備える遊技機であって、
前記センター役物装置は、少なくとも、
遊技に関する各種演出を表示する画像表示装置と、
該画像表示装置の外周に配置され、且つ、当該画像表示装置の画面の前面に出現する可動体と、
該可動体を駆動する駆動装置と、
を備え、
前記駆動装置は、少なくとも、
前記可動体を前記画像表示装置の画面の前面に出現させるソレノイドと、
発光するＬＥＤと、
を備え、
前記可動体は、少なくとも、
前記画像表示装置の画面の前面に出現した際に、前記ＬＥＤの発した光を取り入れる取入口
を備え、
前記制御基板は、
前記ソレノイド及び前記ＬＥＤに駆動信号を出力する駆動信号出力制御手段
を備え、
当該制御基板は、前記駆動信号出力制御手段で前記ソレノイド及び前記ＬＥＤに駆動信号を出力することにより、前記ソレノイドで前記可動体を前記画像表示装置の画面の前面に出現させ、且つ、前記ＬＥＤを発光させることを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記ＬＥＤの周囲には、当該ＬＥＤの発した光が前記取入口に導かれる囲い部材が設けられていることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
（解決手段１）
遊技盤に取り付けられるセンター役物装置と、遊技の進行に応じて前記センター役物装置を制御する制御基板と、を備える遊技機であって、前記センター役物装置は、少なくとも、遊技に関する各種演出を表示する画像表示装置と、該画像表示装置の外周に配置され、且つ、当該画像表示装置の画面の前面に出現する可動体と、該可動体を駆動する駆動装置と、を備え、前記駆動装置は、少なくとも、前記可動体を前記画像表示装置の画面の前面に出現させるソレノイドと、発光するＬＥＤと、を備え、前記可動体は、少なくとも、前記画像表示装置の画面の前面に出現した際に、前記ＬＥＤの発した光を取り入れる取入口を備え、前記制御基板は、前記ソレノイド及び前記ＬＥＤに駆動信号を出力する駆動信号出力制御手段を備え、当該制御基板は、前記駆動信号出力制御手段で前記ソレノイド及び前記ＬＥＤに駆動信号を出力することにより、前記ソレノイドで前記可動体を前記画像表示装置の画面の前面に出現させ、且つ、前記ＬＥＤを発光させることを特徴とする遊技機。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
センター役物装置は、少なくとも、画像表示装置、可動体、駆動装置を備えている。画像表示装置は遊技に関する各種演出を表示し、可動体は画像表示装置の外周に配置されており、且つ、画像表示装置の画面の前面に出現する。駆動装置は可動体を駆動する。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
駆動装置は、少なくとも、ソレノイド、ＬＥＤを備えている。ソレノイドは可動体を画像表示装置の画面の前面に出現させ、ＬＥＤは発光する。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
可動体は、少なくとも、取入口を備えており、この取入口は可動体が画像表示装置の画面の前面に出現した際に、ＬＥＤの発した光を取り入れる。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
制御基板は、駆動信号出力制御手段を備えており、駆動信号出力制御手段はソレノイド及びＬＥＤに駆動信号を出力する。制御基板は、駆動信号出力制御手段でソレノイド及びＬＥＤに駆動信号を出力することにより、ソレノイドで可動体を画像表示装置の画面の前面に出現させ、且つ、ＬＥＤを発光させる。これにより、可動体にＬＥＤを備えることなく、可動体が発光しているように見せることができる。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
このように、可動体が画像表示装置の画面の前面に出現した際に、ＬＥＤが発した光を可動体の取入口で取り入れることで可動体が発光しているように見える。ここでＬＥＤを可動体に備える場合と比べると、ＬＥＤを可動体とは別体の駆動装置に備えることで可動体の重量を軽くすることができ、慣性モーメントを低減できる。したがって、可動体を画像表示装置の画面の前面に出現させるソレノイドへの負荷を抑えることできる。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本実施形態では、例えば、図４の遊技盤４が遊技盤に相当し、図４のセンターユニット４０がセンター役物装置に相当し、図１のパチンコ機１が遊技機に相当し、図５の役物制御基板１１５が制御基板に相当し、図５の画像表示装置４２が画像表示装置に相当し、図４のハンマー部材が可動体に相当し、図４９の連結部４００、運動変換アーム５００、駆動アーム６００、ハンマー部材移動用ステッピングモータ４０ｃ及びハンマー部材用ソレノイド９９等が駆動装置に相当し、図５のハンマー部材用ソレノイド９９がソレノイドに相当し、図５のハンマー部材用ＬＥＤ９００ａがＬＥＤに相当し、図４９の貫通管６００ｆが取入口に相当し、「サブ統合基板１１１からランプ中継基板１１９を介して受信した役物演出コマンドに基づいて、原位置を基準にしてハンマー部材移動用ステッピングモータ４０ｃを所定回数回転させることでハンマー部材機構収容ボックス７００を左右の所定位置Ａ，Ｂに移動させている。その後、役物制御基板１１５は、上述したように、ハンマー部材用ソレノイド９９への励磁を開始して打撃部３００ａを画像表示装置４２の画面に衝突させ、ハンマー部材用ＬＥＤ９００ａを発光させる。」が駆動信号出力制御手段に相当する。

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明の請求項１においては、駆動機構への負荷を抑えることができる。請求項２においては、ＬＥＤの発した光が周囲に漏れにくくなる。